

28 平沢小学校 (にかほ市) (R1環境教育支援校)

児童会本部は1週間玄関前ホールでブルタブとエコキャップの回収活動を行いました。環境委員会は節電や節水を呼び掛け、水飲み場の節電状況結果を昼の放送で紹介しています。野外観察クラブは海辺の自然観察を行い、砂浜の植物、貝殻、海藻、流木、打ち上げられたゴミなどを観察しています。他にも、廊下の節電をはじめストーブの温度設定や加湿器の弱運転、週末の電源OFFなど、省エネの活動に全校を挙げて取り組んでいます。



ブルタブ回収



回収中のエコキャップ

29 ひろおもてエコクラブ (秋田市)

私たちは地域のクラブです。自分たちが生活している地域を中心に、自然観察やクリーンアップなど毎月1回活動しています。活動でゆっくり歩くことにより、普段は見逃しているおもしろい生き物を発見したりします。

年2回は、車で少し遠出し、普段とは違う場所へ行き、特別な先生のお話を聞きながら水生生物の観察や、林の生き物の話をきき、緊張とワクワクがあります。

外での活動以外には、壁新聞づくりがあります。今年は人数が少なく、学年もバラバラで大変でしたが皆で大騒ぎしながら完成させました。



水生生物観察



自然観察



壁新聞づくり

30 藤木小学校エコクラブ (大仙市)

○水質・水生生物比較調査

5・6年生が、学校横の用水路と奥羽山脈麓の源流域の水質・水生生物比較調査を実施しました。用水路には、タニシやザリガニが多く、源流の川にはカワゲラ、カジカなどの生き物がいました。子ども達は、それぞれの環境でいることな生物が生息していることを知り、びっくりしました。



○ドリームワールド R1

今年度も「わくわくいっぱい!自まんがいっぱい!」をテーマに、前提に藤木地区の四季の絵を全校児童で描きました。笑顔の植物、こん虫、動物が生き生きと描かれた4つの楽しい絵が完成しました。あふれる自然が自まんの藤木小の子ども達です。



31 マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ (秋田市)

子供たちに人気の活動は宿泊を伴うもの、サポーターに人気なのはバスが出る活動。新メンバー1年生3人、3年生1人が加わり、6年生の活躍も目立った。

7月8月は岩手県での活動もあり、お互いに助け合う仲間と確認できた。9月駒ヶ岳登山は3歳から71歳まで登頂、達成感を満喫。全国海づくり大会・あきた大会と11月のマイバックキャンペーンで海洋プラスチックに関心が高まった。SDGsも理解し、自分たちの未来を真剣に考えた。

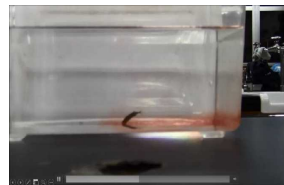


32 美郷中学校総合科学部 (美郷町) (R1環境教育支援校)

美郷町の湧水地には絶滅危惧種であるトミヨ属雄物型、通称「ハリザッコ」が生息しています。このハリザッコの命と美郷町の自然が育んだ湧水環境とを将来もずっと大切に守り続けたいと考え、この研究を先輩たちから受け継いでいます。今年、ハリザッコの感覚器官について研究し、ハリザッコが好むにおいについて明らかになりました。また、新たな試みとして、ハリザッコ以外に、水槽に住んでいる貝に水質を良化させるはたらきがあるかどうかを調べました。どちらの研究も「ふるさと美郷」を守る活動として関心が高まりました。



紙座清水での水質調査



かつおぶしに反応するハリザッコ

33 睦合小学校(横手市)

今年度も全校児童82名で農作業、森林学習、リサイクル活動などが盛んに行われている。保護者の協力体制もよく、学校農園の開墾やマルチ張は全面的な協力を得ている。5月下旬には、全校でサツマイモやサトイモ、また、学年でミニトマトなど学年で考えた野菜も植えている。収穫したものは、なべっこ会の時に皆で食べ、収穫の喜びを味わっている。一人一鉢のベコニアと一緒に近隣の保育所や介護施設にもお届けしている。また、保護者、児童、教職員一体となって年2回空き瓶回収を行い、その収益金を児童の活動資金として有益に活用させてもらっている。睦合小学校では、このような活動を通して、地域の自然を守ろうとがんばっている。来年度で睦合小学校は146年の歴史に幕を下ろし閉校になる。最後の年を、今までの集大成のつもりで盛り上げたいと考えている。



34 湯沢南中学校 自然科学部 (湯沢市) (R1環境教育支援校)

自然科学部では地域の環境をよくするための活動をしています。今年度は「緑のカーテンの冷却効果」について研究し、大きな葉が多く繁る植物が日光の遮熱効果が大きく緑のカーテンに適していること、植物の体内に蓄えられている水が周囲の空気を冷却していることを明らかにしました。研究の成果を学校祭で紹介し、フウセンカズラの種を来場者に配ることで緑のカーテンの普及を目指しました。これからも環境をよくするための手立てを地域に発信していきたいと思ひます。



フウセンカズラの種のプレゼント



自然科学部の緑のカーテン

35 わくわくエコ工房 (秋田市)

秋田市にある桜児童センターで「環境紙芝居とエコ工作」活動を行いました。子供たちは20人の参加、「もったいないばあさん」「はちのひとしずく」をみんな真剣に聞いていたよ！さあ続いてのエコ工作「鳥笛・バードコールづくり」です。桜の小枝を使って中心にドリルで穴開け、そこに丸環をねじ込む。するとどうでしょう！丸環と小枝がこすれて小鳥のシジュウカラがみんなの手のひらにやって来たようでした。こんな取り組みで子供たちを自然の不思議の国へこれからも導かれたら最高です。



環境紙芝居



バードコールづくり



余った時間でトトロ

「全国エコ活コンクール」受賞壁新聞紹介

壁新聞を応募してくださった子どもエコクラブのメンバーのみなさん、ありがとうございました。今年は、全国から164点の壁新聞が集まりました。どの壁新聞も力作ぞろいで、審査員も頭を悩ませたようです。

審査の結果、8点の壁新聞が受賞しました。これを参考にして、令和2年度もどしどしエコ活コンクールに応募してください。



【環境大臣賞】

「海の森へようこそ！」

南三陸少年少女自然調査隊



【文部科学大臣賞】

「熊本大地の底力」

広西地球環境クラブ



【消費者庁長官賞】

「ほくちわたしたち はじめてのエコ！」

オホーツクエコクラブ



【サントリーホールディングス賞】

「森を守り 水を守り 生きものを守りたい」

せいわエコクラブ



【こくみん共済coop賞】

「西表山猫新聞 No.23」

西表ヤマネコクラブ



【タカラトミー賞】

「わたしたちとたんぶり池の仲間たち」

HEP21エコクラブ



【日本環境協会賞】

「三ツ星エコ新聞」

三ツ星エコクラブ



【ミールケア・エコまる賞】

「ほくらはエコ探検隊」

草津市立常盤幼稚園

※ 大きな画像は、子どもエコクラブ全国事務局のページ (<http://www.j-ecoclub.jp/topics/info/202002142019.html>) を御覧ください！

県内壁新聞紹介(全国エコ活コンクール応募作品)

ここで紹介する壁新聞は、日頃のエコ活動(エコロジカルあくしょん)を子どもたちや地域の人たちなど多くの人たちに知ってもらうために、秋田県のこどもエコクラブのメンバーが体験したこと、感じたこと、調べたこと、気がついたことなどをまとめたものです。

マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ



子どもたちからのアピールポイント

このかべ新聞で工夫したことは、ただ色をぬるだけでなく、紙をちぎってはったり、どの世代の人がみても分かるように、色をこくしたり、星に顔をつけたりするなど、くふうしました。また、ちぎってはった紙は、あまったものを使うなど、かべ新聞製作中にも、「エコ」に気がつかれました。「見て」も「聞いて」も楽しいかべ新聞になりました。

サポーターからのメッセージ

今回のかべ新聞では、子ども達が自分で考えた絵などを、たくさんつけています。また、実際に体験した写真などもつけていて、この1年の楽しさや、学んだことが、たくさんつまったかべ新聞になっています。また、今話題になっている「SDGs」もかべ新聞にとりあげましたので、そこにも注目していただきたいです。子ども達が春夏秋冬で活動したこともたくさんついていますので、すみからすみまでとても楽しいかべ新聞になっております。

ひろおもてエコクラブ



子どもたちからのアピールポイント

この新聞は、エコクラブのみんなで協力し合い、絵を描いたり文字を書いたりすることができました。ゴミ拾いを始め、さまざま活動をしていくなかで学んだことも1人1人しっかりと書きました。

この新聞を見て、少しでも自然を大切にしようという思いの人が増えていき、環境がゆたかになればいいなあという思いをこめて作ることができました。

サポーターからのメッセージ

今年はメンバーが少なく、低学年の方が多く、とても心配な壁新聞づくりとなりました。

しかし始めると、メンバーが書いたカードの中から、入れるイラストのアイデアが出たり、工作をしたりと、毎年違うスタイルができて楽しい時間となりました。作業にとりかかるにあたり、過去の新聞を見直し、もう中・高・大学生となったメンバーの写真をみて思い出話もしたり、ささやかですが大切な活動のひとつです。

「環境教育」に関する秋田県の主な事業

学校環境教育支援校	令和元年度は10校を環境教育支援校として指定し、各校から希望のあった環境教育に必要な器具等（デジタルpHメーター等）を提供し、教科の授業や特別活動、部活動などで活用されました。
あきたエコ&リサイクルフェスティバル	楽しみながら環境やエコについて学べるイベントです。令和元年度は、8/31(土)、9/1(日)に秋田駅前のアゴラ広場、買い物広場大屋根下で開催されました。ステージイベント、出展ブース、体験コーナー等を自由に回って身近な環境問題やエコについて、見て、ふれて、考えてみませんか？
環境大賞	環境保全活動に関する実践活動が、他の模範となる団体や学校教育関係、個人を表彰（知事表彰）します。令和元年度は4団体、1個人が表彰されました。
「環境の達人」の派遣	市町村、学校及び住民団体等が主催する講演会や学習会等へ、環境に関する専門の先生（環境の達人）を無料で派遣します。川の生物調査、エコクッキング、エコキャンドルづくり、地球温暖化の現状、自然体験学習……メニューはたくさんあります。
あきた環境学習応援隊	環境に関する講師の派遣、教材の提供、施設見学の受け入れなどを実施している企業や団体を紹介しています。令和2年3月現在で22団体が登録されています。環境に関する学習会や施設見学会の開催をお考えの方はご活用ください。



令和元年度 登録クラブ一覧

1 秋田大学教育文化学部附属中学校 情報・科学部 (69名)	2 秋田東中学校 科学部 (27名)
3 あきたみどりフレンド (21名)	4 秋田南高等学校中等部自然科学部 (25名)
5 旭川小学校清流キッズエコクラブ (79名)	6 浅舞小学校たいよっこエコクラブ (260名)
7 飯田川小学校 (168名)	8 イオン秋田中央チアーズクラブ (8名)
9 イオン土崎港チアーズクラブ (19名)	10 井川義務教育学校 自然観察クラブ (10名)
11 泉児童センター エコクラブ (51名)	12 内小友小エコクラブ (85名)
13 雄物川小学校 (343名)	14 角間川小学校 エコクラブ (77名)
15 旭北小学校 (95名)	16 こひつじっこクラブ (43名)
17 十二所保育園エコクラブ (26名)	18 成章小学校 (79名)
19 せいれいエコクラブ (35名)	20 醍醐小学校キラリエコクラブ (149名)
21 チビッツクラブ (86名)	22 戸島小学校エコクラブ (70名)
23 どれみ保育園エコクラブ (24名)	24 長木っ子 (143名)
25 にしだてエコクラブ (37名)	26 西目シーガルエコクラブ (286名)
27 西目中理科クラブ (9名)	28 平沢小学校 (302名)
29 ひろおもてエコクラブ (11名)	30 藤木小学校エコクラブ (63名)
31 マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ (48名)	32 美郷中学校総合科学部 (14名)
33 睦合小学校 (82名)	34 湯沢南中学校 自然科学部 (14名)
35 わくわくエコ工房 (4名)	計 35クラブ 2,862名 (令和2年3月1日現在)

発行・編集

秋田県生活環境部温暖化対策課 環境活動推進班（秋田県こどもエコクラブ事務局）

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1 TEL: 018-860-1560 FAX: 018-860-3881

E-mail: en-ondanka@pref.akita.lg.jp ホームページ: <http://www.pref.akita.lg.jp/en-ondanka>

こどもエコクラブ
イメージキャラクター
「エコまる」

